



葬儀の際に 喪主がやるべきことリスト



やること		✓	詳細	
1 目 目	葬儀の準備	1	葬儀社への依頼	故人がご臨終になったら、すみやかに葬儀社へ依頼をします。
		2	ご遺体の搬送・安置	葬儀社にご遺体の搬送、安置を依頼します。
		3	ご家族・葬儀社と打ち合わせ	葬儀の日程や料理などを決めます。予算も含めてご家族で話し合い認識を合わせておきましょう。
		4	宗教者の手配	普段からお世話になっている神社や教会があれば連絡し、無ければ葬儀社に手配をお願いしましょう。
		5	訃報の連絡	お葬式の日取りがきまったら、故人の友人・親族やご近所の方などお世話になった方へ連絡しましょう。
		6	死亡届の提出・火葬許可証の受け取り	死亡届を提出すると「火葬許可証」を受け取ることができます。
		7	遺影写真の準備	生前に故人が用意しているものがあればそちらを使用しましょう。
		8	供花の手配	葬儀社によっては他店で購入した供花は利用できないこともあるのでご注意ください。
2 目 目	葬儀の準備	9	ご遺体の処置と納棺の儀	故人の体を清拭し、死装束を着せて副葬品などと一緒に棺に納めます。
		10	通夜会場の確認・司会者との打ち合わせ	会場の確認と司会者と式の流れや弔電を読む順番などの打ち合わせをします。
		11	供花を並べる順番の確認	祭壇や式場内に並べる供花の配置を決めるのも喪主様の役目になります。
	通夜式	12	僧侶への挨拶・お布施のお渡し	通夜が始まる前の挨拶の時、若しくは終わった後にお渡しするのがベストです。
		13	受付	基本的に受付は、喪主様以外の親族や喪主様の友人などが数名で担当します。
		14	焼香	焼香の順番は、喪主様・遺族・親族・一般の参列者の順に行います。
		15	喪主様の挨拶・閉式	喪主様の挨拶で閉式になります。
16	通夜振る舞いでの挨拶	僧侶や故人と親しかった方々に参加していただき、食事やお酒を振る舞います。		
17	告別式の打ち合わせ	ご参列者が帰られたあと、ご遺族は告別式の打ち合わせをします。		
3 目 目	告別式	18	会場の確認・司会者との打ち合わせ	会場の確認と司会者と式の流れなどの打ち合わせをします。
		19	焼香	焼香の順番は、喪主様・遺族・親族・一般の参列者の順に行います。
		20	葬儀での挨拶	丁寧に故人を見送って頂いたことへの感謝を込めて挨拶をしましょう。
		21	お別れ	お別れ花とともに、故人の愛用品を入れることができます。
		22	出棺	喪主様が位牌を、ご遺族が遺影をもち、故人と縁の深い男性6人程で棺を霊柩車へと運びます。
		23	出棺の挨拶	ここで喪主様は霊柩車を見送る人たちに挨拶をします。
		24	火葬	喪主様が最初に、続いて遺族、親族、友人の順に焼香と合掌をします。
		25	精進落としを振る舞う	食事の前後に喪主様が挨拶をします。
26	収骨	喪主様が最後に喉仏の骨を骨壺に納め、骨壺を持ち帰ります。		
4 目 目	告別式	27	埋葬先の決定	埋葬する時期に明確な決まりはありませんので急がなくても大丈夫です。
		28	お葬式後の手続き	葬儀後にしなければならない手続きにはそれぞれ期限がありますのでご注意ください。
		29	初七日法要	故人が亡くなった日から7日目に、お葬式当日のお骨上げ後に行ったり、最近では告別式の中に組み込んで執り行うケースも見られます。
		30	香典返しの手配	初七日から忌明け法要までに準備をし、四十九日法要の翌日、遅くとも2週間以内に届けられるように手配しましょう。